

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 11. み・そむりえ | 12. やかましいオリジナルみそ汁をつくろう |
| 13. 魔法のワカメ | 14. 保存食をつくろう |
| 15. どっちのお茶で SHOW!! | 16. お茶ってどんな味? |
| 17. お茶とことば | 18. 和菓子暦をつくろう |
| 19. お雑煮図鑑をつくろう | 20. わけあって入っています |
| 21. 旬の食材のよさを知ろう | 22. 大豆博士になろう |
| 23. 豆ずかんをつくろう | 24. 食卓のヒーロー〇〇〇 |
| 25. しょうゆ博士になろう | 26. 魚を食べると・・・ |
| 27. 野菜の浮き沈み | 28. 食感を表すおいしい言葉 |
| 29. 和食が世界へ | 30. 地産地消うどん |
| 31. たこ焼きがなくなる日 | 32. もったいないを考える |
| 33. 上手にいただきます | |

食育プログラム集では、授業の流れと板書、給食の時間や教科等の時間に使える「ちょこっと食育」を示して授業のハードルを低くしただけでなく、授業の背景や教材研究の実例も示し、小学校の現場での食育実践を支援する内容となるように工夫した。

教師の資質・能力として、総合的な実践的指導力が求められている。学生が、授業の計画から実施まで全ての過程に関わることで、実践的指導力のひとつにあげられる授業力を育てることが可能となった。

表紙：



配布先：武庫川女子大学 教育学部学生 789 冊
 武庫川女子大学 教育学部教員 50 冊
 大阪府・奈良県・兵庫県・徳島県・福岡県小学校、栄養教諭団体 161 冊
 計 1,000 冊

⑥今後の課題

「日本型食生活」には、生産から流通、消費から廃棄、歴史や食文化など豊かな教材がある。内容において、個人的な食だけでなく、社会的な食も守備範囲として食育の守備範囲を広くすることで、食に対して誠実で丁寧な向き合い方ができるようになると考える。今後もさらなる食育プログラムの開発に取り組んでいきたい。

質の良い食育プログラムの開発には、豊かな食体験や農業体験が欠かせない。専門家との連携や農業体験を日常化できる手立てを検討していきたい。

3. 広報活動

(1) 日本教育新聞

①目的

日本教育新聞紙面上にて、各大学の取り組みについて取材・掲載を行うことで、読者である教育関係者に対して啓発を行った。(8回/年)。タイトルを「農業体験で『日本型食生活』を学ぶ」で統一し、毎回「日本型食生活」についての解説も記載した。

②媒体概要

日本最大の教育専門全国紙として、「学校教育」を軸に、中央・地方の教育行政、学校経営や学校現場の教育実践など、教育界の幅広いテーマ、内容を多角的に報道、解説している。全国に拠点をもち、学校長、教頭等学校の管理職をはじめ、教職員、教育委員会、文部科学省、PTA、教育行政に携わる地方議員など、教育関係者に広く購読されている。

□名称：日本教育新聞 全国版

□創刊：1946年（昭和21年）5月1日

□発行頻度：週刊（毎週月曜日発刊）

□形態：ブランクセット版12～20面

□配布形態：購読者に第三種郵便発送

□発行部数：237,818部

□読者層：教育委員会、幼稚園、小・中・高の管理職、教諭、PTA、教育系大学、地方議員 他

□記事内容：文教行政ニュース、解説、教育実践事例

③掲載

1. 平成27年6月8日号

農業体験で「日本型食生活」を学ぶ
連携する3大学で実践始まる

発酵のまちを発信
上越教育大学
和食の根幹である「発酵食品」を学ぶ。上越教育大学は、発酵食品の魅力を伝えるべく、和食の根幹である「発酵食品」を学ぶ。上越教育大学は、発酵食品の魅力を伝えるべく、和食の根幹である「発酵食品」を学ぶ。

濃厚な体験を提供
大分大学
世界遺産の地である大分県。大分大学は、世界遺産の地である大分県。大分大学は、世界遺産の地である大分県。

食育プログラム集を作成
武蔵野大学
食育プログラムの集大成。武蔵野大学は、食育プログラムの集大成。武蔵野大学は、食育プログラムの集大成。

日本型食生活
ごはんを主食としながら、魚、肉、牛乳・乳製品、野菜、海藻、豆類、果物、茶など多様な副食などを組み合わせる食生活のこと。健康的で栄養バランスにも優れた一食、一日単位ではなくとも、数日から一週間の中で組み立てることができる。